

Junior Sunshine

令和 **6** 年度

小学校英語教科書
内容解説資料
別冊 1

教師用指導書のご案内



もくじ

Teacher's Book	2
学習指導案	8
教師用指導書	31

内容解説の動画は
ウェブページから
ご覧いただけます。



Teacher's Book

「どのように授業を進めればよいか不安」、
「身軽で授業に臨みたい」、そんな声にお応えする
一冊を目指しました。

教科書の紙面

教科書紙面の縮刷をページ中央に配置。児童が実際に見ているイラストや写真を参照しながら、指導することができます。

解答（例）

Let's Listen などの解答を紙面に直接示しました。どの問題の答えなのか、一目でわかります。



Pick Up!

単元について

単元の目標、領域別の目標、評価を各 Lesson 冒頭に示しています。

単元の導入例

児童を言語材料にどう出合わせるか、ステップに分けて丁寧に示しました。

Song, Chant の歌詞は別ページに掲載。Lesson ごとに、まとめてご確認いただけます。



スクリプト

Let's Watch and Think, Let's Listen のスクリプトを掲載しています。

Lesson 5 全 8 時 pp.60-69

単元の目標

相手のことを知るために、お気に入りの場所までの道案内など具体的な情報を聞き取ったり、互いのことをよく知るために、お気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由を尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。

領域別の目標

- 1 聞くこと イ, ウ
- 3 話すこと [やり取り] イ, ウ

評価

聞くこと (知・思・感)
話すこと [やり取り] (知・思・感)

単元の導入例

- 1 教科書 pp.60-61 のイラストや絵カードを使って、施設や建物の言い方に出合わせる。

進め方の例

- T: What can you see on this map?
- C: ハンバーガー屋さん!
- T: Hamburger shop? Everyone, can you find the hamburger shop?
- C: あった!
- T: Where? Please point it. Do you like hamburgers?

- 2 学区の地図などを活用して、地域にある施設や建物を英語で言う。

- 3 ピンゴ・ゲームをしたり Word Book を活用したりして語句を聞いたり言ったりする。

- 4 Let's Watch and Think 1 を視聴し、単元の目的や場面、状況を考えさせる。

- 5 既習の語句を用いて児童とやり取りし、Let's Watch and Think 1 の話の概要や、目的や場面、状況を理解できるようにする。

既習表現の例

What did you hear?
What's this?

Lesson 5 Where is the station? マイタウンを作って案内しよう。

しぜつや建物の言い方を知ろう。

Let's Watch and Think 1

Let's Listen 1

Let's Try 1

Word Book

身の回りのもの p.20

建物など p.26-27

位置 p.28

道案内 p.28

ab: defghijklmnopqrstuvwxyz p.17

スクリプト

Let's Watch and Think 1

Ben: Welcome to my town!

Mifuyu: Wow! Your town is amazing!

Natsuki: Oh, a bear!

Mifuyu: A bear? Where is it?

Natsuki: It's on the roof. It's cute.

Mifuyu: I can't find it. Where is the bear?

Natsuki: It's by the hamburger shop.

Mifuyu: It's by the flower shop.

Mifuyu: I found it. It's a nice house.

Ben: It's my house.

Mifuyu: Your house is very nice.

Ben: Thank you.

Natsuki: Do you have a zoo in your town?

Ben: Yes, I do.

Natsuki: Where is the zoo?

Ben: Go straight for two blocks, turn left, and go straight for two blocks. You can see it on your left. It's by the lake.

Mifuyu: Where is your favorite place?

Ben: My favorite place is the library.

Mifuyu: Where is the library?

Ben: Go straight. Turn right. Go straight for two blocks. Turn left. Go straight. You can see it on your right.

Mifuyu: Thank you.

Natsuki: Your town is wonderful. It's a dream town.

Let's Listen 1

1 Ben: Hi. I'm in the park. This park is big.

2 Natsuki: Hi. I'm at the library. The library is by the elementary school.

3 Mifuyu: Hi. I'm at the post office. The post office is by the police station.

第 1 時

施設や建物の言い方を知ろう。
町にある施設や建物の言い方について理解することができる。

- Where is (the station)?
- Go straight for (two) block(s).
- Turn [right/left]. ● We have (a park), など

1 挨拶をする。 1分
▶ 全体に挨拶し、体調を問うなどする。

2 単元の方向性を知る。 7分
▶ 紙面にある様々な施設や建物について、やり取りを通して興味や関心を高める。
▶ 絵カードを使ってやり取りをしながら、町にある主な施設や建物の言い方に出合わせる。

3 本時のめあてを知る。 1分
▶ 2で単元の方向性を示し、めあてにつなげる。

4 語句に触れる。 7分
▶ 2で触れた施設の語句を使いながら、学区にある指導者のお気に入りの施設などについて、いくつ見つけることができるかなどについて話す。

5 Let's Try 1 3分
▶ 自分たちの地域にある施設や建物を英語で言ってみる。
▶ 児童が住んでいる地域の地図を見て言わせてみることで、自分の課題等につなげる。

▶ 既習の語句を生かしながら、未習の語句の言い方を考えるよう促す。

6 語句を練習する。 3分
▶ Word Book にある [建物など] について、練習させる。

7 Let's Play 1 5分
▶ ピンゴ・ゲームをしたり、「We have (a park) in our town.」の表現を用いたりして、施設や建物の語句を児童に触れさせる。

8 Let's Listen 1 3分
▶ 施設や建物の音声を聞き、位置を表す前置詞と出合わせる。

9 Let's Watch and Think 1 3分
▶ 本単元の目的や場面、状況を考えさせる。

10 Follow Up 4分
▶ 既習の語句や表現を用いたやり取りを通して、話の内容や場面、状況を理解させる。

11 本単元のめあてを知る。 1分

12 Sounds and Letters 3分

13 振り返り 4分

授業の流れ

45 分間の指導に必要な情報を凝縮。この一冊だけで、授業を進められます。

各 Lesson のめあて、活動目標、ターゲット表現を掲載。毎時のゴールに焦点を当てていきます。

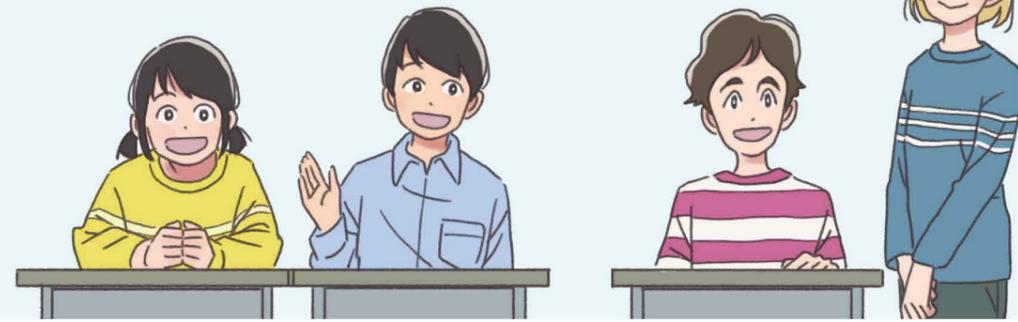
上部には児童の活動、下部には指導者の活動について簡潔に示しています。

進行状況が一目でわかる活動番号で、授業全体を見通すことができます。

「指導のポイントをもっと知りたい！」

学習指導案がサポートします。(p.8 ~)

次ページより原寸大のサンプルをご覧ください。



単元の目標

相手のことを知るために、お気に入りの場所までの道案内など具体的な情報を聞き取ったり、互いのことをよく知るために、お気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由を尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。

領域別の目標

- 1 聞くこと イ, ウ
- 3 話すこと [やり取り] イ, ウ

評価

聞くこと (知) (思) (態)
 話すこと [やり取り] (知) (思) (態)

単元の導入例

- 1 教科書 pp.60-61 のイラストや絵カードを使って、施設や建物の言い方に合わせる。

進め方の例

T: What can you see on this map?
 C: ハンバーガー屋さん!
 T: Hamburger shop? Everyone, can you find the hamburger shop?
 C: あった!
 T: Where? Please point it. Do you like hamburgers?

- 2 学区の地図などを活用して、地域にある施設や建物を英語で言う。
- 3 ビンゴ・ゲームをしたり Word Book を活用したりして語句を聞いたり言ったりする。
- 4 Let's Watch and Think 1 を視聴し、単元の目的や場面、状況を考えさせる。
- 5 既習の語句を用いて児童とやり取りし、Let's Watch and Think 1 の話の概要や、目的や場面、状況を理解できるようにする。

既習表現の例

What did you hear?
 What's this?

Lesson 5 Where is the station?
 マイタウンを作って案内しよう。

しぜつや建物の言い方を知ろう。

Let's Watch and Think 1 ペンがゲームで作った町に夏輝と美冬が招待されました。

Follow Up みんなはどのようなことを話しているでしょうか。

Let's Play 1 しぜつや建物の言い方に慣れるために、「ビンゴ・ゲーム」をしましょう。

Let's Listen 1 3人がいる場所を言います。聞こえた順番を□に書きましょう。

Let's Try 1 自分たちの地域にあるしぜつや建物を言いましょう。

Word Book

Song Box

- 1 Hark! Hark! The Dog Do Bark.
- 2 "On, In, Under, By" Song

Chant Box

- 1 Where is your school bag?
- 2 Where is the pizza shop?

身の回りのもの → p.20

建物など → p.26-27

位置 → p.28

道案内 → p.28

60 sixty

61 sixty-one

スクリプト

Let's Watch and Think 1

Ben: Welcome to my town!

Mifuyu: Wow! Your town is amazing!

Natsuki: Oh, a bear!

Mifuyu: A bear? Where is it?

Natsuki: It's on the roof. It's cute.

Mifuyu: I can't find it. Where is the bear?

Natsuki: It's by the hamburger shop.

Mifuyu: It's by the flower shop.

Mifuyu: I found it. It's a nice house.

Ben: It's my house.

Mifuyu: Your house is very nice.

Ben: Thank you.

Natsuki: Do you have a zoo in your town?

Ben: Yes, I do.

Natsuki: Where is the zoo?

Ben: Go straight for two blocks, turn left, and go straight for two blocks. You can see it on your left. It's by the lake.

Mifuyu: Where is your favorite place?

Ben: My favorite place is the library.

Mifuyu: Where is the library?

Ben: Go straight. Turn right. Go straight for two blocks. Turn left. Go straight. You can see it on your right. It's by the elementary school.

Mifuyu: Thank you.

Natsuki: Your town is wonderful. It's a dream town.

Let's Listen 1

1 Ben: Hi. I'm in the park. This park is big.

2 Natsuki: Hi. I'm at the library. The library is by the elementary school.

3 Mifuyu: Hi. I'm at the post office. The post office is by the police station.

第1時

- めあて 施設や建物の言い方を知ろう。
- 活動目標 町にある施設や建物の言い方について理解することができる。
- ターゲット表現
- Where is (the station)?
 - Go straight for (two) block(s).
 - Turn [right/left]. ● We have (a park). など
- 1 挨拶をする。 1分
- ▶ 全体に挨拶し、体調を問うなどする。
- 2 単元の方向性を知る。 7分
- ▶ 紙面にある様々な施設や建物について、やり取りを通して興味や関心を抱かせる。
- ▶ 絵カードを使ってやり取りをしながら、町にある主な施設や建物の言い方に合わせる。
- 3 本時のめあてを知る。 1分
- ▶ 2で単元の方向性を示し、めあてにつなげる。
- 4 語句に触れる。 7分
- ▶ 2で触れた施設の語句を使いながら、学区にある指導者のお気に入りの施設などについて、いくつか見つけることができるかなどについて話す。
- 5 Let's Try 1 自分たちの地域にある施設や建物を英語で言ってみる。 3分
- ▶ 児童が住んでいる地域の地図を見て言わせてみることで、自分の課題等に気づかせる。
- ▶ 既習の語句を生かしながら、未習の語句の言い方を考えるよう促す。
- 6 語句を練習する。 3分
- ▶ Word Book にある [建物など] について、練習させる。
- 7 Let's Play 1 5分
- ▶ ビンゴ・ゲームをしたり、「We have (a park) in our town.」の表現を用いたりして、施設や建物の語句を児童に触れさせる。
- 8 Let's Listen 1 3分
- ▶ 施設や建物の音声を聞き、位置を表す前置詞と合わせる。
- 9 Let's Watch and Think 1 3分
- ▶ 本単元の目的や場面、状況を考えさせる。
- 10 Follow Up Let's Watch and Think 1 の話の概要を理解する。 4分
- ▶ 既習の語句や表現を用いたやり取りを通して、話の内容や場面、状況を理解させる。
- 11 本単元のめあてを知る。 1分
- 12 Sounds and Letters 3分
- 13 振り返り 4分

第2時

めあて ものの位置を表す言い方に慣れよう。
活動目標 ものの位置を表す表現について理解することができる。
ターゲット表現 ● Where is (the station)?, ● It's [on / in / under / by] (the park). など

1 挨拶をする。 1分
▶ 全体に挨拶し、体調を問うなどする。

2 表現に出会う。 10分
▶ 施設や建物などの言い方を想起させた後、様々なものの位置についてやり取りをしながら本時の導入を図る。
▶ 身の回りのものを見せたり動かしたりしながら、表現への理解を促す。

3 本時のめあてを知る。 1分
▶ 2の活動から、本時のめあてにつなげる。

4 Let's Listen 2
何がどこにあるのかを聞き取る。 5分
▶ 身の回りのものやそれが場所について、児童とやり取りし、活動の方法を確認した後、音声を聞かせる。
▶ 音声を1回ずつ止めながら聞かせるなど、児童の実態に合わせて行うようにする。
▶ 選択肢が2つ残った時点で、どちらにあるか予想させたりして、児童とやり取りして意欲を喚起しながら進めるようにする。

5 Let's Play 2
コマンド・ゲームをする。 5分
▶ 始めは、指導者が指示をする。慣れてきたら児童同士で活動を行うようにする。

6 Chant Box Where is your school bag? 5分

7 Let's Try 2
ものを置く場所を決めて、自分の部屋を完成させたあと、ペアでその位置を尋ねたり答えたりする。 10分
▶ まずは自分の部屋を完成させ、その後、互いに尋ねたり答えたりする。また、相手が作った部屋を再現するゲーム形式にすることで、尋ねたり答えたりする必然性が生まれる。
▶ 実態に合わせて活動方法を考え、表現を使いながら慣れさせる。

8 Song Box "On, In, Under, By" Song 4分
▶ ジェスチャーをつけるなどして、楽しく表現に慣れ親しませる。

9 振り返り 4分

自分の部屋と町を作って、さまざまなしつ場所を伝え合おう。

5 Let's Play 2
物の位置を表す表現に慣れるために、「コマンド・ゲーム」をしましょう。

2 Let's Listen 2
ベンとおとうさんの会話を聞いて、何がどこにあるのかを線で結びましょう。

Activity 2: Matching items to locations. Items: clock, T-shirt, school bag. Locations: on the wall, under the chair, in the basket, on the desk.

Let's Try 2
かばん、Tシャツ、時計を置く場所を決めて、自分の部屋を完成させましょう。ペアで物の位置をたずねたり答えたりしましょう。

Activity 3: Room scene with dialogue. Ben asks 'Where is your clock?' and Ben's father replies 'It's on the desk.'

62 sixty-two Small Talk What is this? (身の回りのもの)

スクリプト

Let's Listen 2
Ben's father: Ben, it's time to go to school.
Ben: OK. Where is my clock?
Ben's father: It's on the desk.
Ben: Where is my T-shirt?
Ben's father: It's in the basket.
Ben: I see. Where is my school bag?
Ben's father: It's under the chair.

プラスワン

Let's Play 3

1 ③警棒が交差しているところを表しており、それを丸で囲っているのは警察署 (police station), 囲っていないものは交番 (police box) を表示しています。

⑥この記号では、小学校と中学校を表示しています。junior high schoolは6年生で学習する単語ですが、実態に合わせて、語句について触れてもよいでしょう。

Let's Play 3 1 次の地図記号を表すものを英語で言いましょう。

Activity 1: Map symbols and their English names: fire station, library, police station, post office, hospital, elementary school, convenience store, restaurant, shopping mall / department store.

Activity 1
空き地に自分の家やさまざまなしつを配置し、マイタウンを作りましょう。ペアで、駅をスタート地点として、家やしつがある場所を伝え合ひましょう。

Activity 2: Student dialogue about location. 'The park is by the lake. My house is by the park.'

Let's Listen and Read 1
ベンがマイタウンにある自分の家のある場所を言います。音声を聞きながら、文を指で追ひましょう。

Activity 3: Student dialogue about home location. 'My house is by the hamburger shop. My house is by the post office.'

Let's Write 1
マイタウンの中で、自分の家がある場所を書きましよう。

Activity 4: Writing practice. 'My house is _____'

63 sixty-three

コラム

外国人向けの地図記号について

Let's Play 3 2では、外国人向けの地図記号を用いて語句の練習をします。地域で見かけることはあるでしょうか。これらの記号は、アンケートによって集められた外国人の意見を踏まえ、日本や日本語に予備知識がない人でもわかりやすいものとなるよう検討がなされました。そして、外国人がよく訪れるとされる15施設の地図記号が、2016年、国土地理院によって定められました。Let's Play3 1で登場する6つの施設のうち、2つ(郵便局、病院)が該当します。

Column: Comparison of Japanese and international symbols for post office and hospital.

それぞれが、なぜそのようなデザインなのかを知ることで、その記号のモチーフや、記号に対するイメージが実は日本特有のものである、と気付くことがあります。

第3時

めあて 建物やマイハウスの場所を伝え合おう。
活動目標 町にある建物や施設、それが位置について、伝え合うことができる。
ターゲット表現 ● Where is (the station)?, ● It's [on / in / under / by] (the park). など

1 挨拶をする。 1分
▶ 全体に挨拶し、体調を問うなどする。

2 Let's Play 3
地図記号で表された建物を英語で言う。 4分
▶ 1, 2の地図記号を提示し、「What's this?」と問いかけながら、それぞれの建物を英語で言う。実態に合わせて、Word Bookの活用を促す。

3 本時のめあてを知る。 1分
▶ 前時の自分の部屋の活動を想起させ、本時のめあてにつなげる。

4 Activity 1
指導者のデモンストレーションを見る。
▶ マップに自分の家を記入し、空きスペースに建物等の絵カードを置く。
▶ マップを見せながら、自分の家の位置を伝え合う。 14分
▶ 児童とのやり取りを通して、活動の場面や状況を伝える。
▶ マップには事前にいくつか建物を配置し、位置を表す表現を共有できるようにしておく。
▶ 適宜中間指導を入れる(リアクションの仕方、表現の工夫、態度などを確認したり、練習したりする)。

5 Let's Listen and Read 1
自分の家の場所を言ってから音声を聞き、文を指で追う。 5分
▶ 自分の家の位置を表す表現を言わせてから、音声を聞かせる。その後、文字を指で追わせながら教科書の文を言わせる。

6 Let's Write 1
自分の家の場所を言ったあと、例文を参考に書き写す。 13分
▶ Let's Listen and Read1とWord Bookを参考に丁寧に書き写させる。書き写した後は、指導者が確認する。

7 Sounds and Letters 3分

8 振り返り 4分

Where is the station?

マイタウンを作って案内しよう。

pp.60-69

単元について

本単元では、児童が作った町を舞台として、道案内をしたり、お気に入りの場所やその理由を伝え合ったりする。この活動を通して、施設や建物、道案内に使う表現に加え、位置関係を表す前置詞についても学習する。

単元前半ではまず、登場人物が作った町を話題として施設や建物の言い方に慣れ、次に、身の回りのものやものの位置を表す表現を知り、そして、単元後半では、前置詞を含む道案内の活動へとつながるように構成されている。位置関係を表す前置詞や道案内で使う表現の指導に当たっては、具体物进行操作したり身体を動かしたりして、体験的に理解を深めるようにしたい。

児童一人ひとりがオリジナルの部屋や町を作るというタスクによって楽しく活動に取り組むと思われる。だからこそ自分のことをよく知ってもらうために、「マイタウンのおすすめの場所について伝えたい」という言語活動に対する必要性や意欲を高めたい。そのためには、実際に児童が住む地域と比較したり、日常生活や他教科などを通じた経験や学びを想起し、自分だけでなく他者にも配慮して「こんな町があったらいいな」と考えたりすることなどが重要である。

単元の目標

相手のことを知るために、お気に入りの場所までの道案内など具体的な情報を聞き取ったり、互いのことをよく知るために、お気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由を尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。

関連する領域別の目標

(1) 聞くこと イ, ウ (3) 話すこと [やり取り] イ, ウ

単元の評価規準

領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	〈知識〉 Where is (the station)?, Go straight for one(two) block(s)., Turn [right / left]., You can see it on your [right / left]., We have (a park) in our town., 及びその関連語句 (以下、主な言語材料) などについて理解している。 〈技能〉 地域の施設や建物、お気に入りの場所までの道順について、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。	相手のことをよく知るために、お気に入りの場所について、道順など具体的な情報を聞き取っている。	相手のことをよく知るために、お気に入りの場所について、道順など具体的な情報を聞き取ろうとしている。
話すこと [やり取り]	〈知識〉 主な言語材料について理解している。 〈技能〉 互いの住む地域のお気に入りの施設のある場所について、主な言語材料を用いて、道順を尋ねたり答えたりして伝え合う技能を身に付けている。	互いのことをよく知るために、マイタウンのお気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由を尋ねたり答えたりして伝え合っている。	互いのことをよく知るために、マイタウンのお気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由を尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。

主な言語材料

表現	Where is (the station)?, Go straight for one(two) block(s)., Turn [right / left]., You can see it on your [right / left]., It's [on / in / under / by] (the park)., We have (a park) in our town.
語句	施設・建物など (amusement park, apartment house, bookstore, bridge, convenience store, department store, elementary school, fire station, flower shop, gym, hamburger shop, hospital, house, library, museum, music hall, police station, post office, restaurant, station, supermarket, theater, zoo), 自然 (lake, river), 方向 (right, straight, left), 位置 (on, in, under, by)

これまでの学習との関連内容

[4年] Unit 2: Let's play cards. (Let's Try! 2)

[4年] Unit 8: This is my favorite place. (Let's Try! 2)

単元の流れ

第1時	
めあて	施設や建物の言い方を知ろう。
学習到達目標	施設や建物の言い方を理解する。
ターゲット表現	We have [a park] in our town.
指導のポイント	指導者の話や身の回りにある施設や建物を話題にした会話から本単元の場面や状況に触れ、児童の興味・関心を引きながら新しい語句を知る必要性を実感できるような導入とする。
↓	
第2～3時	
めあて	自分の部屋と町（マイタウン）を作って、部屋にあるものや施設や建物の場所を伝え合おう。
学習到達目標	ものの位置を表す言い方を理解し、部屋にあるものや施設や建物のある位置について尋ねたり言ったりすることができる。
ターゲット表現	Where is (the library)?, It's [on / in / under / by] (the park).
指導のポイント	自分の部屋や町作りを通して前置詞の導入を図る。まずは教科書の pp.60-61 を話題にして位置を表す表現に着目させる。次に、教室や身の回りにあるものについて話すなどして表現の使用場面を示すとともに、具体物进行操作するなどして理解を促す。第2時では物の位置、第3時では、町の施設などの場所について、言語活動を展開する。
↓	
第4～5時	
めあて	マイタウンでお気に入りの場所の道案内をしよう。
学習到達目標	登場人物の道案内を聞き取って理解したり、マイタウンのお気に入りの場所や、その場所までの道順を尋ねたり答えたりすることができる。
ターゲット表現	Where is your favorite place?, My favorite place is the (zoo)., Turn [right / left]., Go straight for one(two) block(s)., You can see it on your [right / left].
指導のポイント	第4時で十分に音声を聞かせたうえで、言語活動では、まずは「やってみる」ことを重視し、中間指導を通して課題の解決や学習の改善を図り、目標達成を目指す。あわせて、児童の学習状況に合わせて左右を示した補助の教具を活用したり、相手が安心して道案内できるためのリアクションを助言したりするなどの配慮を心がける。
↓	
第6～7時	
めあて	マイタウンのお気に入りの場所について、くわしく伝え合おう。
学習到達目標	相手のことをよく知るために、登場人物のお気に入りの場所について話を聞いたり、マイタウンのお気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由などを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。
ターゲット表現	Where is your favorite place?, Turn [right / left]., Go straight for one(two) block(s)., Turn [right / left]., You can see it on your [right / left]., Is your favorite place (the zoo)?, That's right. My favorite place is (the zoo).
指導のポイント	お気に入りの場所への道順だけでなく、その理由についても伝え合う。理由の言い方は、教科書の音声や指導者のモデルを提示し、既習表現を想起させるとともに、必要に応じて練習を行うなど丁寧な指導に努めたい。また、聞き手に場所を予想させてから答えを教えるクイズ形式にするなどして、「やり取り」の言語活動を展開する。
↓	
第8時	
めあて	日本や外国の施設や建物について話を聞いたり、読んだりしよう。また、小文字を書こう。
学習到達目標	活字体の小文字を書いたり、既習の語句や表現を聞いて概要を捉えたり読んだりする。
指導のポイント	単元の学習と関連を図った発展的な内容となっているので、実態に合わせて活動を行いたい。

単元の指導と評価の計画

時	目標と主な学習活動	評価		
		知	思	態
1	<p>目標 町にある施設や建物の言い方について理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書紙面や自分たちの地域の地図を見ながら、指導者の話を聞いたり、指導者とやり取りをしたりする。 Let's Try 1 で、自分たちの地域にある施設や建物について言う。 Let's Play 1 で、ビンゴ・ゲームを通して施設や建物の言い方に慣れる。 Let's Listen 1 で、施設や建物を聞き取る。 Let's Watch and Think 1 で、ベンがゲームで作った町について、登場人物の話を聞く。 Follow Up で話の概要を捉え、単元のゴールを設定する。 			
		目標に向けた指導を行う。Let's Try 1 や Let's Play 1 における児童の活動状況を見取り、指導や学習改善に活かす。		
2	<p>目標 ものの位置を表す表現について理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 pp.60-61 のイラストにあるものや身の回りにあるものの位置について、指導者の話を聞いたり、指導者や友だちとやり取りしたりする。 Let's Listen 2 で、ものの位置について聞き取る。 Let's Play 2 で、指示を聞いてものの位置を変える。 Let's Try 2 で、自分で作った部屋にあるものの位置について話す。 "On, In, Under, By" Song を歌う。 			
		目標に向けた指導を行う。Let's Listen 2 や Let's Try 2 における児童の状況を見取り、指導や学習改善に活かす。		
3	<p>目標 町にある施設や建物、それがあある場所について、尋ねたり答えたりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> Let's Play 3 で、地図記号で表された施設や建物について考え、それがある場所について、指導者の話を聞いたり、指導者や友だちとやり取りしたりする。 Activity 1 で、自分の町を作り、ペアでそれぞれの町にある施設や建物、それがあある場所について、尋ねたり答えたりする。 Let's Listen and Read 1 を行う。 Let's Write 1 を行う。 			
		目標に向けた指導を行う。Activity 1 における児童の状況を見取り、指導や学習改善に活かす。		
4	<p>目標 相手のマイタウンにある施設や建物について、道案内を聞いたり、道順を尋ねたり答えたりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> Small Talk で、好きな秋の食べ物とそれを食べたり買ったりすることができる施設や建物について、指導者の道案内を聞いたり道案内をしたりする。 Let's Watch and Think 2 と Let's Listen 3 で、登場人物の道案内を聞く。 Let's Play 4 で、サイモン・セズ・ゲームを通して道案内の言い方に慣れる。 Let's Try 3 で、マイタウンについて、ペアで駅から自分の家までの道案内をし合う。 			
		(聞)		
		(や)		

時	目標と主な学習活動	評価		
		知	思	態
5	<p>目標 マイタウンのお気に入りの場所について、道順を尋ねたり答えたりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> Let's Play 5 で、道案内やそこでできることなどを聞いて、どの施設や建物について話しているかを考える。 Activity 2 で、マイタウンのお気に入りの場所について、グループで道案内をし合う。 Let's Listen and Read 2 を行う。 Let's Write 2 を行う。 			
		や		
6	<p>目標 相手のことをよく知るために道案内を聞いたり、互いのことをよく知るために、マイタウンのお気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由などを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> Let's Listen 4 で、登場人物によるお気に入りの場所への道案内を聞く。 指導者が自分の好きな場所について、気持ちや考えを含めて話すのを聞く。 自分のお気に入りの場所について、その理由を表す表現を考える。 Let's Try 4 で、互いのことをよく知るために、マイタウンのお気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由などを尋ねたり答えたりして伝え合う。 			
		聞	聞	聞
		や	や	
7	<p>目標 相手のことをよく知るために、マイタウンのお気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由などを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> Activity 3 では、全体やグループで、互いのことをよく知るために、マイタウンのお気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由などを尋ねたり答えたりして伝え合う。 Let's Listen and Read 3 を行う。 Let's Write 3 を行う。 			
		や	や	や
8	<p>目標 日本や外国の施設や建物について、話の概要を捉えたり、読んだりする。また、活字体の小文字を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> Aroud the World の動画を視聴する。 Story Time で、音声で十分に慣れ親しんだ文の意味を考える。 Sounds and Letters (p.117) や Letter Box で、アルファベット (小文字) の学習のまとめをする。 単元の学習を振り返る。 			

第1時

目標 町にある施設や建物の言い方について理解することができる。

- 準備物** ① 指導者用・学習者用デジタル教科書 ② Word Book
 ③ 絵カード(施設・建物) ④ 学区の地図(オンラインマップサービスなどを活用)
 ⑤ ワークシート(Let's Play 1 ビンゴ・シート) ⑥ 振り返りシート

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□)
1分	1 挨拶をする。	○ 全体に挨拶をし、体調を問うなどする。
7分	2 単元の方向性を知る。 pp.60-61のイラストを見て、どんな施設や建物があるかなどについて指導者とやり取りし、施設や建物の言い方に触れる。	○ 本単元の場面や状況をつかむため、児童とのやり取りを通して教科書紙面の町のイラストにある様々な施設や建物の絵に、徐々に興味や関心を抱けるようにする。 ○ 絵カードを使ってやり取りをしながら、町にある主な施設や建物の言い方に出合わせるようにする。
<p>進め方の例 T: Open your textbook to page 60 and 61. What can you see on the map? C: ハンバーガー屋さん! T: A hamburger shop? Everyone, can you find the hamburger shop? C: あった! T: Where? Please point it. Do you like hamburgers? (ペアや全体で話し合わせる)</p>		
1分	3 本時のめあてを知る。 施設や建物の言い方を知ろう。	○ 2の活動で単元の場面や状況を示し、本時のめあてにつなげる。
7分	4 語句に触れる。 地域にあるお気に入りの施設や建物についての指導者の話を聞いたり、指導者とやり取りしたりして、地域にある施設や建物の言い方を知る。	○ 児童にとってより身近な話題となるように、学区の地図(オンラインマップサービスなど)を利用し、2で触れた施設の語句を使いながら、学区にある指導者のお気に入りの施設、または学区にある施設(コンビニなど)をいくつ見つけることができるかなどを話す。
<p>進め方の例 T: Look at this picture. (地域にある施設の写真など) What's this? C: あっ、〇〇体育館! T: Yes! It's a gym. We have the gym in our town. The gym is my favorite place. I like swimming. Do you like sports? C: Yes! T: Oh, you like sports, too. Can you see hospitals? How many hospitals can you see on this map? など</p>		
3分	5 Let's Try 1 ペアになり、自分たちの地域にある施設や建物を地図で見つけながら、英語で言ってみる。	○ これまでの活動を活かし、学区の地図を見せて実際に言わせてみることで、児童が自分の課題などに気づく機会とする。 ○ 既習の語句を生かしながら、知らない語句の言い方を考えるように促す。
3分	6 語句を練習する。 Word Bookのpp.26-27(建物など)の語句をペアや個々で言ってみる。難しいと感じた語句を全体で練習する。	○ デジタル教材を活用し、Word Bookに掲載されている建物などの名前を、主体的に聞いたり言ってみたりする。

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□)
5分	7 Let's Play 1 ビンゴ・ゲームを通して施設や建物の言い方や、We have ~.の表現を繰り返し聞く。	○ 出合った様々な施設や建物の名前を聞く活動として、ビンゴ・ゲームを行う。(ワークシートや絵カードなどを活用してもよい。) ○ 指導者は“We have (a park) in our town.”の表現を用いて施設や建物の名前を児童に聞かせる。
3分	8 Let's Listen 1 登場人物のそばにある施設や建物の名前を聞き、聞こえた順番を書く。	○ 施設や建物の音声を聞き、位置を表す前置詞と出合わせる活動としてクイズ形式の活動を行う。 ○ 事前に、□のついている5つの施設について、英語の言い方を確認する。
<p>スクリプト Ben: Hi. I'm in the park. This park is big. Natsuki: Hi. I'm at the library. The library is by the elementary school. Mifuyu: Hi. I'm at the post office. The post office is by the police station.</p>		
3分	9 Let's Watch and Think 1 デジタル教科書で、登場人物がゲームで作った町について伝え合っている動画を視聴する。	○ 8の活動を受けて、登場人物の会話を聞くことで本単元の目的や場面、状況を考えさせる。 ○ ペアで考えさせたりタブレット端末で個別に視聴させたりして、実態に合わせた活動を行うようにする。 ○ 動画は“Thank you.”で一時停止させる。
<p>進め方の例(視聴前) T: Where are Ben, Natsuki, and Mifuyu? C: ベンが作った町! T: Really? Let's watch and listen carefully.</p>		
4分	10 Follow Up 指導者とのやり取りを通して、Let's Watch and Think 1の話の概要を理解する。	○ 既習の語句や表現を用いた児童とのやり取りを通して、改めて話の内容や場面や状況を理解させる。
<p>進め方の例(視聴後) T: What did you hear? C: Bear! C: “Welcome to my town.”も聞こえた。 T: Good job! Where are Ben, Natsuki, and Mifuyu? C: ベンの町! T: Yes! This is Ben's town. Do you want to make your own town?</p>		
1分	11 本単元のめあてを知る。 マイタウンを作って案内しよう。	○ 10でのやり取りに続けて、児童に本単元でやってみたいことを問い、単元のめあてを設定する。
3分	12 Sounds and Letters アルファベットの小文字②	○ 文字の形の特徴に注意しながら動画を視聴し、小文字を読んだり書いたりさせる。
4分	13 振り返りを行う。 ・振り返りシートを書く。 ・指導者のコメントを聞き、次時への見通しや意欲をもつ。	○ 振り返りの観点を示す。 ○ 各自が成長や課題について考えられるようにする。

第2時

目標 ものの位置を表す表現について理解することができる。

- 準備物** ① 指導者用・学習者用デジタル教科書 ② **Word Book**
 ③ 時計や本など身の回りのもの ④ 絵カード (施設・建物) ⑤ 振り返りシート

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□)
1分	1 挨拶をする。	○ 全体に挨拶をし、体調を問うなどする。
10分	2 単元の方向性を知る。 pp.60-61のイラストや教室にある身の回りのものなどについて指導者の話を聞いたり、指導者とやり取りしたりして、ものの位置を表す語 (on, in, under, by) を知る。	○ 前時の活動を想起させるため、教科書紙面の町のイラストを再度見て施設や建物の言い方を想起させた後、様々なものがある場所について児童に尋ねたりやり取りしたりするなどして、本時の導入を図る。 ○ ベンの町から 時計や本など身の回りのもの に話題を移し、実際にものを見せたり動かしたりしながら、ものの位置を表す前置詞への理解を促す (絵カードなどを黒板に掲示する)。
<p>進め方の例</p> <p>T: Where is the bear? C: 屋根の上。 T: Yes. It's <u>on</u> the roof. It's <u>by</u> the hamburger shop. Where is the panda? Can you find it? C: Zoo. T: Great! The panda is <u>in</u> the zoo. What animals can you see <u>in</u> the zoo? C: Elephant! Lion! T: Yes. You can see many animals there. Where is Ben? C: Park. T: Yes. Ben is <u>in</u> the park. C: 桜の木の下。 T: Great. Ben is <u>under</u> the cherry tree.</p>		
1分	3 本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; width: fit-content;">ものの位置を表す言い方を知ろう。</div>	○ 2の活動から、本時のめあてにつなげる。
5分	4 Let's Listen 2 何がどこにあるのかを聞き取る。	○ 活動を始める前に、教科書紙面の町のイラストにある身の回りのものやそれが場所について児童とやり取りし、活動の方法を確認した後、音声を聞かせる。 ○ 児童の活動状況を確認しながら、音声を1回ずつ止めて進めたり全て一度に聞かせたりするなど、児童の実態に合わせて行う。 ○ 選択肢が残り2つになったら、どちらにあるか予想させて答えを言わせるなど、児童とやり取りして意欲を喚起しながら進める。 ○ 実態によりタブレット端末を活用し、 Let's Listen 2 や Word Book [ものの名前など] について、音声を聞いて練習することも考えられる。
<p>スクリプト</p> <p>Ben: Where is my clock? Ben's father: It's on the desk. Ben: Where is my T-shirt?</p> <p>Ben's father: It's in the basket. Ben: I see. Where is my school bag? Ben's father: It's under the chair.</p>		

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□)
5分	5 Let's Play 2 指導者の指示通りに消しゴムを置く。慣れたら児童同士で行う。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>活動例</p> <p>T: Put your eraser on your desk. C: (消しゴムを机の上に置く) T: It's on the desk. C: It's on the desk.</p> </div>	○ 始めは指導者が指示をする。慣れてきたら児童同士で活動を行うようにする。 身の回りのもの を実際に操作することで、表現の意味の理解が深まる。 ○ 置くものや置く場所などは児童のアイデアを取り入れるなど、児童の実態に応じた方法で活動を行い、意欲が継続するようにする。
5分	6 Chant ① "Where is your school bag?" を言う。	○ 次の言語活動につなげるために、表現に慣れ親しませる。
10分	7 Let's Try 2 ・ かばん、Tシャツ、時計を置く場所を決めて、自分の部屋を完成させる。 ・ ペアで物の位置を尋ねたり答えたりする。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>発話例</p> <p>C1: Where is your clock? C2: It's on the desk.</p> </div>	○ まずは自分の部屋を完成させ、その後、互いに尋ねたり答えたりする。相手が作った部屋を再現するというゲーム形式にすることで、尋ねたり答えたりする必然性が生まれる。 ○ 実態に合わせて活動方法を考え、表現を使いながら慣れさせるようにする。
4分	8 Song ② "On, In, Under, By" Song を歌う。	○ ジェスチャーをつけるなどして、楽しく表現に慣れ親しませるようにする。
4分	9 振り返りを行う。 ・ 振り返りシートを書く。 ・ 指導者のコメントを聞き、次時への見通しや意欲をもつ。	○ 振り返りの観点を示す。 ○ 各自が成長や課題について考えられるようにする。

第3時

目標

町にある施設や建物、それがあある場所について、尋ねたり答えたりすることができる。

準備物

- ① 指導者用・学習者用デジタル教科書
- ② Word Book
- ③ ワークシート (Activity 1 「マイタウン・マップ」)
- ④ 絵カード (施設・建物)
- ⑤ 振り返りシート

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□)
1分	1 挨拶をする。	○ 全体に挨拶をし、体調を問うなどする。
4分	2 Let's Play 3 地図記号で表された施設や建物を英語で言う。	○ ①, ②の地図記号を提示し, "What's this?"と問いかけながら, それぞれの建物を英語で言う。英語の言い方がわからないときは, Word Bookで調べるよう促す。
1分	3 本時のめあてを知る。 建物やマイハウスの場所を伝え合おう。	○ 前時の自分の部屋の活動を想起させ, 本時のめあてにつなげる。
14分	4 Activity 1 指導者のデモンストレーションを見る。	○ 本活動が言語活動を通じた活動になるよう, デモンストレーションにおいて, 児童とのやり取りを通して, 活動の場面や状況を伝える。位置を表す表現を共有できるように『マイタウン・マップ』には, いくつかの記号を事前に載せておく。 ○ 事前に掲示用のマイタウン・マップ, 絵カードを準備しておく。

進め方の例 (掲示用マイタウン・マップを示しながら)

T: Look. I have a library in my town. I like reading books. The library is by the restaurant. I have a police station, too. Police officers are cool.
The police station is by the (school). (地図記号を指し示し, 児童に "school" を言わせる)
This is my house. (事前に指導者の家を記入しておく。児童が見ている前で, 家の隣に公園の絵カードを置く)
My house is (by the park). (公園の絵カードを指し示し, 児童に "by the park" を言わせる)
Please ask me, everyone. Where is your house?
C: Where is your house?
T: My house is (by the park).

- ・『マイタウン・マップ』に自分の家を記入し, 絵カードを選んでその隣に置く。
- ・ペアになり, 家のある場所を尋ねたり答えたりする。

- デモンストレーションを手掛かりにマップの空白のスペースに自分の家を記入させ, 位置を伝えられるよう, その隣に, 建物の絵カードを置くよう指示する。

聞き手の反応や表現の工夫の例

【聞き手の反応の例】

C1: My house is by the park.
C2: I see. / Your house is by the park. / That's nice.

【表現の工夫の例】

C: My house is by the park.
I play soccer in the park.

※そばにある施設や建物について自分の考えや気持ちなどを加える。

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□)
5分	5 Let's Listen and Read 1 ・自分の家の場所を言う。 ・音声を聞く。 ・文を指で追いながら, 文字を読む。	○ いきなり文字を読むのではなく, 自分の家の場所を表す表現を再度声に出してから取り組ませる。 ○ 音声を聞かせて, 教科書の文を言わせる。 ○ 上記のように十分に音声に慣れ親しませたうえで, 文を指で追わせながら読ませる。板書や掲示などで全体に示し, 文字と一緒に追って確認をしながら読むなど, 丁寧に指導を行う。
13分	6 Let's Write 1 ・自分の家の場所を言う。 ・例文や Word Book を参考に書き写す。 ・指でなぞり読みをしながら指導者のチェックを受ける。	○ "My house is by the"までは, Let's Listen and Read 1の文を参考にさせる。建物については, Word Book を参考に丁寧に書き写させる。書き写した後, 指でなぞり読みをして確認するなど正しく書くことができるように指導する。
3分	7 Sounds and Letters アルファベットの小文字②	○ 文字の形の特徴に注意しながら動画を視聴し, 小文字を読んだり書いたりさせる。
4分	8 振り返りを行う。 ・振り返りシートを書く。 ・指導者のコメントを聞き, 次時への見通しや意欲をもつ。	○ 振り返りの観点を示す。 ○ 各自が成長や課題について考えられるようにする。

第4時

目標

相手のマイタウンにある施設や建物について、道案内を聞いたり、道順を尋ねたり答えたりすることができる。

準備物

- ① 指導者用・学習者用デジタル教科書
- ② 秋の食べ物画像または絵カード (サンマ, 焼き芋など)
- ③ Word Book
- ④ ワークシート (マイタウン・マップ) / 提示用のコマ (地図上で動かすコマ。左右が書かれている)
- ⑤ 振り返りシート

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□)
1分	1 挨拶をする。	○ 全体に挨拶をし、体調を問うなどする。
10分	2 Small Talk 好きな秋の食べ物について尋ね合う。	○ What's your favorite ~? に対して、My favorite ~ is ○○. というやり取りの定着を図る。
<p>進め方の例 (画像や絵カードで示しながら行う)</p> <p>① 既習の語句から秋の食べ物の言い方を考える。 T: I like autumn food. What's this? C: さんま! T: That's right. 英語で「さんま」は先生もわからないけれど、「焼き魚」なら言えるかな。 C: 焼き fish. T: 惜しいね。It's grilled fish. C: Grilled fish.</p> <p>② 指導者が未習の語句を教えたり、Word Book で調べさせたりする。 T: What's this? C: 焼き芋。 T: 焼き芋 is baked sweet potatoes in English.</p> <p>③ 好きな秋の食べ物を尋ねたり答えたりして伝え合う。 T: My favorite food is grilled fish. What is your favorite food? C: Baked sweet potatoes. T: Your favorite food is baked sweet potatoes. (同様に何人かとやり取りをする) C: My favorite food is grapes. T: Good job!</p>		
5分	3 Let's Watch and Think 2 登場人物の話を読んで具体的な情報や概要を聞き取り、教科書の空欄に記述する。	○ 全体を聞く中で、「ベンが案内した場所」「その場所についてわかったこと」について、児童が聞き取れた英語や概要の情報を共有し合い、道案内の場面をイメージできるようにする。
1分	4 本時のめあてを知る。 道案内をしたり、聞いたりしよう。	○ Let's Watch and Think 2 の場面から、本時のめあてにつなげる。
3分	5 Let's Listen 3 pp.60-61 のマップを使って、音声の指示に従う。	○ 音声を聞いて概要を捉え、最も当てはまる建物 (library) を選択できるよう説明を加える。 □ 「聞くこと」知 [行動観察・記述内容]
<p>スクリプト Ben: Turn left. Go straight. Turn right. Go straight for two blocks. You can see it on your left.</p>		
4分	6 Let's Play 4 サイモン・セズ・ゲームをする。	○ 提示用のコマを動かしながら指示を出し、次の言語活動につなげるための表現に慣れ親しませる。
<p>活動例 Simon says, "Turn right / left." (児童はリピートしながら右または左を向く) Go straight. (児童はリピートしながらその場で足踏みをする)</p>		

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□)
10分	7 Let's Try 3 道案内をし合う。 マイタウン・マップを使って、地図記号で表された建物がある場所について、指導者の話を聞いたり、指導者や友だちとやり取りをしたりしながら、道案内をし合う。 ▷ 指導者の道案内のデモンストレーションを見て、fire station の場所をマップに記入する。	○ 指導者が道案内の仕方をデモンストレーションしながら、fire station をマップに記入させる。
<p>進め方の例 (チーム・ティーチングの場合) (※指導者が単独の場合は2役する) T1: Excuse me. Where is the fire station? T2: Fire station? We are at the train station now. (マイタウン・マップの駅の位置にコマを置く) Are you ready? Go straight for two blocks. T1: OK. Go straight for two blocks. One.... Two.... (コマを動かしながら) T2: Turn right. T1: Turn right. (コマを動かしながら) T2: It's on your left. It's on the corner by the park. T1: It's on my left. It's on the corner by the park. OK. Thank you. (消防署の地図記号を記入する) T2: You're welcome.</p> <p>▷ 指導者の道案内を聞いて、hospital の場所をマップに記入する。 ▷ ペアで、自分の家への道案内をし合う。</p>		
<p>○ 道案内が聞き取れなかったときには "Sorry?" や "One more time, please." のように確認をするなど、聞き手の反応の仕方についても指導する。 ○ 互いのマップを見せずに、相手を自分の家へ道案内させることで、互いに未知の情報を尋ね合う必要性をもたせる。家の場所を、前時で記入した場所から変えてもよい。</p>		
<p>進め方の例 ※互いのマップが見えないように工夫する。 C1: Where is your house? C2: (We are at the train station now.) Are you ready? 中間指導の進め方の例 T: 道案内はできましたか。 C: 「右側の角にある」の言い方がわかりませんでした。 T: 言い表したいことを短く一つひとつ言ってみましょう。「右側です」は? C: It's on your right. T: That's right! 今度は「角にある」は? C: It's on the corner. T: Good job. 二つを続けて言えばいいね。言ってごらん。 C: It's on your right. It's on the corner. T: Great!</p>		
<p>・再度、道案内をし合う。</p>		
7分	8 Let's Try 3 ペアを変えて、マイタウン・マップを使いながら、自分の家への道を案内し合う。	○ 適宜中間指導を入れ、より相手にわかりやすい伝え方を工夫 (聞き手の反応の仕方、表現の工夫、態度など) の確認をしたり、練習をしたりする。 □ 「話すこと [や]」知 [行動観察]
4分	9 振り返りを行う。 ・振り返りシートを書く。 ・指導者のコメントを聞き、次時への見通しや意欲をもつ。	○ 振り返りの観点を示す。 ○ 各自が成長や課題について考えられるようにする。

第5時

目標

マイタウンのお気に入りの場所について、道順を尋ねたり答えたりすることができる。

準備物

- ① 指導者用・学習者用デジタル教科書
- ② Word Book
- ③ ワークシート (Let's Play 3 「マイタウン・マップ」)
- ④ 絵カード (施設・建物)
- ⑤ 振り返りシート

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□)
1分	1 挨拶をする。	○ 全体に挨拶をし、体調を問うなどする。
2分	2 Chant ② “Where is the pizza shop?” を言う。	○ 道順の尋ね方や案内の仕方を想起させる。
5分	3 Let's Play 5 指導者からの “Where am I?” クイズに答えたり、友だちと問題を出し合ったりする。	○ 指導者が自分のマイタウン・マップや、教科書 pp.60-61 のイラストを使って出題する。実態に応じ、出題者を児童にしてもよい。 ○ 活動を通して、施設や建物、そこでできることなどを表す表現に慣れさせる。 ○ 必要に応じて中間指導をする。ヒントの出し方などの課題を共有して、適切な指導や練習を行う。
<p>中間指導の進め方の例 (教科書を使用する場合)</p> <p>T: Look at this map. Please guess! Where am I? At the library? At the post office? C: どこだろう。学校かな。 T: I'll give you some hints. Listen carefully. Hint 1. I like traveling. / Hint 2. People get on or get off a train there. / Hint 3. I can enjoy watching cool trains there. Where am I? C: At the station! T: That's right. I'm at the station.</p>		
1分	4 本時のめあてを知る。 マイタウンのお気に入りの場所について、道順を尋ねたり答えたりしよう。	○ 3の活動から本時のめあてにつなげ、意欲づけを図る。
6分	5 活動の方法を知る。 指導者のお気に入りの場所についてやり取りし、活動の方法を知る。	○ 指導者がモデルを示して活動の方法を理解させるとともに、活動への意欲づけを図る。
<p>進め方の例 (指導者のマイタウン・マップを提示して)</p> <p>T: Please ask me, “Where is your favorite place?” C: (全員) Where is your favorite place? T: Can you guess my favorite place? C: School? ミュージックホールかなあ。 T: OK. Let's go to my favorite place. You are here. (駅などスタート地点を決める) Are you ready? Go straight. Turn left at the first corner. Go straight. Turn right at the first corner.</p> <p>You are here. OK? C: OK. T: Go straight for one block. You can see it on your right. That is my favorite place. What's this place? C: School! T: That's right. My favorite place is the school. I like my students. My students make me happy. Now, it's your turn.</p>		
6分	6 活動に向けて準備をする。 マイタウンに加えたい施設などを置き、お気に入りの場所を決め、道案内の仕方を考える。	○ 各自が作ったマップを使って活動を行う。概ね前時までに作成できていると思われるため、加える施設は1, 2個とする。 ○ 必要に応じて、タブレット端末などで音声を確認したり練習したりする。 ○ 必要に応じて個別指導を行う。
5分	7 Activity 2 (1回目) ・ペアでお気に入りの場所まで道案内をする。 ・活動を振り返る。	○ グループ内でペアを組み、尋ねたり答えたりさせる。 ○ 本時の目標達成に向けた中間指導を行う。

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□)
	<p>中間指導の進め方の例 (1回目のやり取り)</p> <p>T: Please stop talking. うまくお気に入りの場所について尋ねたり答えたりできましたか。 C1: 道案内の仕方がわからなくなりました。 C2: ○○さんの道案内は、わかりやすかったです。 T: Thank you for your sharing. お気に入りの場所について、もっとうまく尋ねたり答えたりするためには、どうしましょうか。 C2: 練習したい。○○さんの案内を聞きたい。</p>	<p>【学習改善のための指導例】 本時は、「知」の観点から指導する。 ・よいやり取りをしていた児童をモデルにし、全体とやり取りして、自分と比較してよい点を見つけさせるなどして自己調整を促す。 ・チャンツや絵カードなどを使って、言いにくい表現の練習を全体で行う。 ・タブレット端末などを使って個人で練習させる。 (中間指導を生かして、2回目の活動を行う)</p>
6分	8 Activity 2 (2回目) 相手を変えてお気に入りの場所まで道案内をする。	<p>○ 7での中間指導を踏まえて、児童が自己調整を図ることができるよう支援する。 ○ 適宜中間指導を入れ、必要に応じた指導を行う。</p> <p>【話すこと [やり取り] 知 [行動観察・後日パフォーマンステスト]</p> <p>知 についての評価例 (a と b) と児童の発話 ※下の会話例の C2 は案内役でも聞き役でも言いよどむことなく、かつほぼ正しく表現を用いて話しているため (a) と判断した。(the については評価の対象としない) ※ C1 は案内役としては、ほぼ正しく表現を用いて話しているものの、聞き役としては、言いよどんだり表現に一部間違いが見られたりする。しかしコミュニケーションに支障がない範囲で道順を尋ねているため、(b) と判断した。 <C1 聞き役, C2 案内役> C1: Where ... 何て言うんだっけ ... Where (is your 抜け) ... favorite place? C2: Let's go to my favorite place. Go straight. Turn right at the first corner.</p> <p>C1: Turn right (at the 抜け) えっと, first corner? C2: Yes. Go straight for two blocks. You can see it on your left. C1: OK. 公園? C2: That's right. My favorite place is (the 抜け) park. <C1 案内役, C2 聞き役> C2: Where is your favorite place? C1: Let's go to my favorite place. Go straight for two block (s 抜け). Turn right. C2: Go straight for two blocks. Turn right. OK. C1: Go straight. You can see it on your right. C2: ... on your (my の間違い) right. It's (the 抜け) museum. C1: That's right!</p> <p>○ 本活動においては、評価対象を (a) に近い児童に絞り、単元末に向けて計画的に評価を進める。 ○ 全体の活動を終えた後、(a) に近い学習状況の児童に全体の前でペアになってやり取りをさせる。他の児童の学習改善につなげる。 ○ (b) に満たないと判断した児童には、次時へ向けて継続的に指導を行う (評価規準・評価基準 p.18 参照)。</p>
2分	9 Let's Listen and Read 2 ・自分のお気に入りの場所を言う。 ・音声を聞く。 ・文を指で追いつながりながら、文字を読む。	<p>○ 8の活動を踏まえ、お気に入りの場所を再度声に出してから取り組ませる。 ○ 音声を聞かせて、教科書の文を言わせる。 ○十分に音声に慣れ親しませうえで、文を指で追いつながりながら読みさせる。板書や掲示などを使い、文と一緒に追って確認をしながら読むなど、丁寧に指導を行う。</p>
4分	10 Let's Write 2 ・例文や Word Book を参考に書き写す。 ・指でなぞり読みをしながら指導者のチェックを受ける。	<p>○ お気に入りの場所は、Word Book を手本に丁寧に書き写させる。指でなぞり読みをして確認するなど、正しく書くことができるように指導する。</p>
3分	11 Sounds and Letters アルファベットの小さい文字②	<p>○ 文字の形の特徴に注意しながら動画を視聴し、小文字を読み取り書いたりさせる。</p>
4分	12 振り返りを行う。 ・振り返りシートを書く。 ・指導者のコメントを聞き、次時への見通しや意欲をもつ。	<p>○ 振り返りの観点を示す。 ○ 各自が成長や課題について考えられるようにする。</p>

第6時

目標

相手のことをよく知るために道案内を聞いたり、互いのことをよく知るために、マイタウンのお気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由などを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。

準備物

- ① 指導者用・学習者用デジタル教科書
- ② Word Book
- ③ ワークシート(マイタウン・マップ)
- ④ 絵カード(施設・建物)
- ⑤ 振り返りシート

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□)
1分	1 挨拶をする。	○ 全体に挨拶をし、体調を問うなどする。
2分	2 Chant ② “Where is the pizza shop?” を言う。	○ 道順の尋ね方や案内の仕方を想起させる。
6分	3 Let's Listen 4 音声から道順や美冬に関する情報を聞き取り、お気に入りの場所を選び、その場所を選んだ理由を書く。	○ 活動の前に、登場人物が作ったマイタウンについて児童とやり取りするなどして、活動方法を十分に理解させるようにする。 ○ 「美冬のことをよく知るために」という目的や場面、状況を児童と共有する。 ○ 児童の実態に合わせて音声を途中で止めてもよい。 ■ 「聞くこと」知、思、態 [行動観察、記述分析、振り返りシート、後日パフォーマンステスト]
<p>スクリプト Mifuyu: Hi, I'm Mifuyu. Look at the map. This is my town. Where is my favorite place? (pause) Turn right. Go straight. Turn left at the corner. Go straight for one block. Turn right. Go straight. You can see it on your left. It's by the flower shop. I want to be a teacher. I like books very much.</p>		
<p>知、思、態を(a)と判断した児童の「理由」の記述例 ※相手をよく知るという目的に応じて、相手をよく知るための情報も落とさず聞き取っていることが伺える。 花屋さんのそばと言っていたし、道順を聞いたら図書館でした。それに、美冬さんは、先生になりたいくて本が好きと言っていたから図書館だと思いました。</p> <p>知、思、態を(b)と判断した児童の「理由」の記述例 ※道順は聞き取れているが、相手のことをよく知るための情報については、一部だけ聞き取っている。 花屋さんのそばと言っていたし、道順を聞いたら図書館でした。だから、お気に入りの場所は図書館だと思いました。美冬さんは先生になりたいから。</p> <p>態を(a)と判断する資料となる振り返りシート記述例 ※前単元の学習から自己調整を図っていることが伺える記述が見られる。 前の単元で、相手のことをよく知るために話を聞くとき気をつけることをみんなと勉強したから、今日は、相手のことを知ろうと思って考えながら聞きました。 ※本時の活動を次の学びに生かそうという気持ちが見取れる。 道案内はよく聞き取れたけれど、美冬さんのことが聞けていなかった。○○さんのように何のために聞くのかを考えて聞けるようになりたい。</p>		
1分	4 本時のめあてを知る。 お互いのことをよく知るために、お気に入りの場所について、尋ねたり答えたりしよう。	○ 3の活動から、本時のめあてにつなげる。 ○ 本時の言語活動の目的や場面、状況を児童とともに共有する。
10分	5 前時と違う指導者(ALTや他の学級担任など)のお気に入りの場所についての話を聞き、活動の方法を知る。	○ 指導者がモデルを示して活動の方法を理解させる。 ○ 互いのことを知るという目的を意識させる。
<p>進め方の例 (指導者のマイタウンを提示して) T: This is my town. We have a station, a big park, a music hall (主な施設などを紹介) C: (全員で) Where is your favorite place? T: Please guess my favorite place. C: Big Park? Station? T: OK. Let's go to my favorite place. You are here. (駅などスタート地点を決める) Are you ready? Go straight. Turn right at the first corner. C: Go straight. Turn right ...</p> <p>T: Go straight for two blocks. OK? (中略) You can see it on your left. This is my favorite place. What's the place? C: Wow! Park (the 抜け)! T: Yes. My favorite place is the park. C: Why? T: I like walking and running. I can see beautiful flowers there. C: Nice! T: Thank you. Next your turn.</p>		

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□)
5分	6 お気に入りの場所の理由の言い方を考える。	○ 5の指導者の話や、Let's Try 4を参考にすることで、既習表現を想起させ、理由の言い方を考えさせる。
10分	7 Let's Try 4 (1回目) お互いのことをよく知るためにお気に入りの場所を尋ねたり答えたりする。 ・気をつけるポイントについて考え合う。 ・ペアでやり取りをする。 ・ペアや個人で練習を行う。	○ 各自のマイタウンマップで活動を行う。 ○ 互いのことを知るという目的に応じて、どのようなやり取りをすればよいかを共有する。 ○ 必要に応じて、タブレット端末などで、音声を確認したり練習したりできるようにする。 ○ 本時の目標達成に向けた中間指導を行う。
<p>中間指導の進め方の例 T: OK. Please stop talking. 自分のことをよく知ってもらったり、相手のことを知ったりするために、お気に入りの場所を伝え合えましたか。うまく伝えられたことや困ったことは何ですか。お気に入りの場所の道案内や理由をわかりやすく伝えていた人はいましたか。</p> <p>学習改善のための指導の例 ○ 必要に応じて、意図的に難しいと思われる表現を絵カードやチャッツなどを活用し、繰り返し練習させたり、ペアで練習し合ったりさせる。 ○ 相手によく知ってもらおうという目的に応じて、よりよ</p>		
<p>C1: You can see ... が難しくって言えませんでした。 C2: ○○さんの道案内がわかりやすかったです。理由もくわしく言えていたのすごかったです。 T: Thank you for your sharing. お気に入りの場所について、もっとうまく尋ねたり答えたりするためには、どうしましょうか。 C2: 練習したい。○○さんの案内を聞きたい。</p> <p>く伝え合っている児童や指導者などのモデルを全体に示すなどして自己調整を促す。(思)の観点から ○ 「何のために」ということを再度確認し、改善が必要なことを意識づけ、自己調整を促す。(態)の観点から</p>		
6分	8 Let's Try 4 (2回目) ・相手を変えてお気に入りの場所について伝え合う。	○ 1度目の中間指導を踏まえて、児童が自己調整を図ることができるように支援する。 ■ 「話すこと [やり取り]」知、思 [行動観察、振り返りシート、後日パフォーマンステスト]
<p>知、思 についての評価例(a)と児童C4の発話 ※ C4は案内役として自分のことをよくわかってもらうために、お気に入りの場所について、相手の理解を確かめながら情報を加えるなどしてわかりやすく道案内したり、その理由を詳しく伝えたりしているため(a)と判断した。 C3: Where is your favorite place? C4: Let's go to my favorite place. (相手を意識して誘っている) C3: OK. C4: Are you ready? (相手に状況を確認している) Go straight. Turn right at the first corner. OK? (相手の理解を確認している)</p> <p>C3: Turn right (at the 抜け) え〜っと、first corner? C4: Yes. You are here. (相手の理解を促している) Go straight for two blocks. You can see it on your left. It's by the gym. (わかりやすく説明を加えている) C3: わかった! Supermarket? C4: That's right. My favorite place is the supermarket. C3: Why? C4: I like shopping. I can enjoy shopping. I can help my mother. (理由をくわしく伝えている) C3: Wonderful!</p>		
<p>○ 目的に応じて、相手に進んで質問したり反応を返したり、相手の理解を確かめながらわかりやすく道案内をしたり、情報を加えてより詳しくお気に入りの理由を言ったりして伝え合っているかどうかを評価する。 ※ ペアで互いのやり取りを撮影し、記録に残し、評価の資料とすることも考えられる(評価規準・評価基準 p.18 参照)。 ○ 次時の最終活動に向けての意欲づけを図る。</p>		
4分	12 振り返りを行う。 ・振り返りシートを書く。 ・指導者のコメントを聞き、次時への見通しや意欲をもつ。	○ 振り返りの観点を示す。 ○ 各自が成長や課題について考えられるようにする。

第7時

目標

相手のことをよく知るために、マイタウンのお気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由などを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。

準備物

- ① 指導者用・学習者用デジタル教科書
- ② Word Book
- ③ ワークシート(マイタウン・マップ)
- ④ コマ
- ⑤ 振り返りシート

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□)
1分	1 挨拶をする。	○ 全体に挨拶をし、体調を問うなどする。
3分	2 Chant ② “Where is the pizza shop?” を言う。	○ 道順の尋ね方や案内の仕方を想起させる。
1分	3 本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 5px;">お互いのことをよく知るために、お気に入りの場所について、尋ねたり答えたりしよう。</div>	○ 言語活動の目的や場面、状況を、再度児童とともに共有し、よりよい伝え方ができるように意識づけを図る。
10分	4 Activity 3 (1回目) ・ 互いのことをよく知るために、グループでお気に入りの場所を尋ねたり答えたりする。 ・ 気をつけるポイントについて確認してから、グループでやり取りをし合う。 ・ 1回目の活動を振り返る。	○ マイタウン・マップ や コマ を使って、グループでお気に入りの場所を伝え合うことを告げる。 ○ 目的や場面、状況を確認し、気をつけるポイントを再度共有する。 ○ 本時の目標に沿った中間指導を行い、目標達成に向けた指導を行う(前時の中間指導を参照)。 タブレット端末 を使用し、やり取りの様子を撮影し、指導に活用してもよい。
15分	5 Activity 3 (2回目) 他のグループの友だちとお気に入りの場所について伝え合う。	○ 4の中間指導を踏まえて、児童が自己調整を図ることができるように支援する。 ○ 活動の途中で適宜中間指導を入れ、必要に応じた指導を行う。 ■ 「話すこと [やり取り]」 知 、 思 、 態 [行動観察、振り返りシート、後日パフォーマンステスト]

態 について (a) と判断した児童 C2 の例

※下の会話の C2 は、前時の学習や本時の中間指導を踏まえ、よりよい伝え方ができるように粘り強く取り組んだり自己調整したりする姿が、発話や振り返りシートから見られたため (a) の状況と判断した。

<前時2回目の発話>

C1: Where is your favorite place?
C2: Let's go. ●
C1: OK.
C2: Go straight for two blocks. Turn right. ●
C1: Turn right?
C2: Yes. Go straight. You can see it on your left. ●
C1: Zoo?
C2: That's right. My favorite place is the zoo.
C1: Why?
C2: I like animals. ●

<本時2回目の児童 C2 の発話>

C3: Where is your favorite place?
C2: Let's go to my favorite place. (表現の追加)
C3: OK.
C2: Are you ready? (相手への配慮)
C3: OK. Let's go!
C2: Nice! (感想) Go straight for two blocks. Turn right. OK? (相手への配慮)
C3: Turn right?
C2: Yes. You are here. (確認)
Go straight. You can see it on your left. It's by the school. (情報の追加)
C3: Zoo?
C2: That's right. My favorite place is the zoo.
C3: Why?
C2: I like animals. I like panda. Panda is very cute. (情報の追加)

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□)
		<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>態 を (a) と判断する資料とした C2 の振り返りシート記述</p> <p>※自己調整を図っていることが伺える記述が見られる。</p> <p>前の時間に聞いた友だちの発表の仕方がよかったので、参考にして、相手によくわかってもらえるように、工夫して道案内をしたり、お気に入りの場所の理由をくわしく言ったりできたと思います。</p> </div> <p>○ 態 に関する評価は、単元をまたいだ長期的な視点で見取る(評価規準、評価基準 p.18 参照)。 ○ 本時2回目の児童 C2 の波線部のように、複数形の s が抜けていることは評価の対象とはしないが、事後に指導し学習の改善を図る。</p>
3分	6 Let's Listen and Read 3 ・ 音声を聞く。 ・ 文を指で追いながら、文字を読む。	○ 6の活動を踏まえ、お気に入りの場所を再度声に出して言ってから取り組ませる。 ○ 音声を聞かせてから、教科書の文を言わせる。 ○ 十分に音声に慣れ親しませたうえで、文字を指で追わせながら読ませる。板書や掲示などで全体に示しながら文字と一緒に追って確認をしながら読むなど、丁寧に指導を行う。
5分	7 Let's Write 3 ・ 例文や Word Book を参考に書き写す。 ・ 指でなぞり読みをしながら指導者のチェックを受ける。	○ お気に入りの場所については、 Word Book を参考に丁寧に書き写させる。書き写した後、指でなぞり読みをして確認するなど正しく書くことができるように指導する。
3分	8 Sounds and Letters アルファベットの小文字②	○ 文字の形の特徴に注意しながら動画を視聴し、小文字を読んだり書いたりさせる。
4分	9 振り返りを行う。 ・ 振り返りシートを書く。 ・ 指導者のコメントを聞き、次時への見通しや意欲をもつ。	○ 振り返りの観点を示す。 ○ 各自が成長や課題について考えられるようにする。

第8時

目標

日本や外国の施設や建物について、話の概要を捉えたり読んだりする。また、活字体の小文字を書く。

準備物

- ① 指導者用・学習者用デジタル教科書
- ② ワークシート(マイタウン・マップ)
- ③ 振り返りシート

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□)
1分	1 挨拶をする。	○ 全体に挨拶をし、体調を問うなどする。
4分	2 前時までの活動の振り返りをする。	○ 第7時までの活動を、児童のマイタウン・マップや振り返りシートを紹介するなどして振り返る。 ○ 自分たちの住む地域以外に、外国にある施設や建物にはどんなものがあるか、児童とのやり取りを通して徐々に興味や関心を抱かせる。
1分	3 本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; width: fit-content;">日本や外国の施設や建物について知ろう。</div>	○ 2を踏まえて、本時のめあてにつなげる。
3分	4 Song ② “On, In, Under, By” Song を歌う。	○ ジェスチャーをつけるなどして、楽しく表現の復習をさせる。
10分	5 Around the World 動画を視聴し、話の概要を理解する。	○ シンガポール、スロベニア、メキシコの動画を1本ずつ視聴させる。1度目は最後まで音声を聞かせ、その後、児童の実態に合わせて、途中で止めたり再度聞かせたりする。 ○ それぞれの動画で、建物やものの位置を表す語 (on, in, under, by) に焦点を当て、それらがどのように使われていたか、やり取りを行う。 ○ 世界の様々な施設や建物がどのような場所にあるかなどについて、興味・関心が高まるようにする。
<p>進め方の例 (シンガポール)</p> <p>T: どんな英語が聞こえましたか。どんなことを言っていましたか。(ペアで話し合わせる)</p> <p>What's in Singapore?</p> <p>C: マーライオン。</p> <p>T: That's right. Where is the Merlion?</p> <p>C: 海!</p> <p>T: Is the Merlion in the sea?</p> <p>C: By the sea.</p> <p>T: OK. “It's” から始めて言ってみてください。</p> <p>C: It's by the sea.</p>		
10分	6 Story Time ・イラストや写真をたよりに Story Time を読み、意味がわかるところを共有し、どのような内容かを予想する。 ・全体の音声を聞き、わかったことを共有する。 ・一文ずつ音声を聞きながら文を指で追う。	○ 本単元や既習の学習を生かし、読む活動に取り組ませる。 ○ 児童の実態に応じて、登場人物に自分の好きな場所を教えるとしたら何と言うかなどについて、指導者や友だちとやり取りをさせてもよい。

時間	児童の活動	指導者の活動と指導上の留意点(○)と評価(□)
8分	7 Letter Box ・アルファベットの小文字についての動画を視聴する。 ・文字の形の特徴を確かめながらなぞる。	○ 第1, 3, 5, 7時の Sounds and Letters の復習を行う。動画を順不同で視聴し、提示された小文字がどのような特徴を持っているか確認してもよい。 ○ 動画で確認したことを注意して、丁寧に文字をなぞらせる。
4分	8 振り返りを行う。 ・単元の学習を振り返り、振り返りシートに書く。 ・指導者のコメントを聞き、次の単元への見通しと意欲をもつ。	○ 振り返りの観点を示す。 ○ 単元を通して、できるようになったこと、新しく気付いたり知ったりしたこと、工夫をしたり頑張ったりしたこと、課題に感じたことなどについて振り返らせる。
4分	9 CAN-DO チェック 頑張ったことやできるようになったことなどを記録に残す。	○ 単元の学習を振り返らせるだけでなく、Lesson 4までの学びの履歴にも留意させ、Lesson 6に向けて目的意識や学習意欲を高められるよう指導する。

目指すべき姿がわかる

評価規準・評価基準例

各 Lesson の評価規準と評価基準を一覧にまとめました。



Lesson 5 Where is the station?

目標 相手のことを知るために、お気に入りの場所までの道案内など具体的な情報を聞き取ったり、互いのことをよく知るために、お気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由を尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。

領域	観点	評価規準	評価基準		
			a	b	c
聞くこと	知	《知識》 Where is (the station)?, Go straight for one(two) block(s)., Turn [right / left]., We have (a park) in our town., 及びその関連語句などについて理解している。 《技能》 地域の施設や建物、お気に入りの場所までの道順について具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。	Let's Listen 4 において、お気に入りの場所への道順について、具体的な情報を正しく聞き取り、記述した内容にも間違いがなく、ウを選択している。	Let's Listen 4 において、お気に入りの場所への道順について、一度では聞き取れず数回聞くことを求めたり、記述した内容の一部に間違いがあったりするものの、具体的な情報のおおよそを聞き取り、ウを選択している。	左記に満たない状況
	思	相手のことをよく知るために、お気に入りの場所について、道順など具体的な情報を聞き取っている。	Let's Listen 4 において、登場人物のことをよく知るという目的に応じて、お気に入りの場所について、道順だけでなく登場人物の考えや気持ちに関する具体的な情報を全て落とさず聞き取り、記述している。	Let's Listen 4 において、登場人物のことをよく知るという目的に応じて、お気に入りの場所について、道順だけでなく登場人物の考えや気持ちに関する具体的な情報のおおよそを聞き取り、全てではないが一つ以上記述している。	左記に満たない状況
	態	相手のことをよく知るために、お気に入りの場所について、道順など具体的な情報を聞き取るようとしている。	Let's Listen 4 において、登場人物のことをよく知るという目的に応じて、お気に入りの場所について、具体的な情報の中から必要なものを整理しながら聞き取るよう、粘り強く取り組んだり自己調整したりしている。	Let's Listen 4 において、登場人物のことをよく知るという目的に応じて、お気に入りの場所について、具体的な情報を聞き取るようとしている。	左記に満たない状況

領域	観点	評価規準	評価基準		
			a	b	c
話すこと(聴き取り)	知	《知識》 Where is (the station)?, Go straight for one(two) block(s)., We have (a park) in our town., 及びその関連語句などについて理解している。 《技能》 互いの住む地域のお気に入りの施設のある場所について、上記の言語材料、及びその関連語句などを用いて、道順を尋ねたり答えたりして伝え合う技能を身に付けている。	Let's Try 4, Activity 3 において、マイタウンのお気に入りの場所について、Where is (the station)?, Go straight for one(two) block(s). などの表現を正しく用いて、言いよどむことなく、道順を尋ねたり答えたりしている。	Let's Try 4, Activity 3 において、マイタウンのお気に入りの場所について、Where is (the station)?, Go straight for one(two) block(s). などの表現の一部誤りがあったり、言いよどむことがあるもの、道順を尋ねたり答えたりしている。	左記に満たない状況
	思	互いのことをよく知るために、マイタウンのお気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由を尋ねたり答えたりして伝え合っている。	Let's Try 4, Activity 3 において、互いのことをよく知るという目的に応じて、マイタウンのお気に入りの場所について、相手に進んで質問したり反応を返したり、相手の理解を確かめながらわかりやすく道案内をしたり、情報を加えてより詳しくお気に入りの理由を言ったりして伝え合っている。	Let's Try 4, Activity 3 において、互いのことをよく知るという目的に応じて、マイタウンのお気に入りの場所について、相手に質問をしたり、わかりやすく道順やお気に入りの理由を言ったりして伝え合おうと、粘り強く取り組んだり自己調整したりしている。	左記に満たない状況
	態	互いのことをよく知るために、マイタウンのお気に入りの場所について、道順やお気に入りの理由を尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。	Let's Try 4, Activity 3 において、互いのことをよく知るという目的に応じて、マイタウンのお気に入りの場所について、相手に進んで質問したり反応を返したり、相手の理解を確かめながらわかりやすく道案内をしたり、情報を加えて詳しくお気に入りの理由を言ったりして伝え合おうと、粘り強く取り組んだり自己調整したりしている。	Let's Try 4, Activity 3 において、互いのことをよく知るという目的に応じて、マイタウンのお気に入りの場所について、相手に質問をしたり、わかりやすく道順やお気に入りの理由を言ったりして伝え合おうと、粘り強く取り組んだり自己調整したりしている。	左記に満たない状況

1 評価規準と評価基準を同時に参照することができます。

2 評価場面を示し、a 評価、b 評価の児童の姿をわかりやすくしました。

3 どの活動で評価するかを明記し、学習指導案との関連を見えやすくしました。

4 評価する領域別に、詳しく・わかりやすく記載しています。

多様な授業・学習に対応

教師用指導書

豊富な資料と教材で、指導を手厚くサポートします。



- ① Teacher's Manual (解説編) 一学習指導案編/総論編
- ② Teacher's Book
- ③ 指導者用デジタル教科書

- ④ アルファベット絵カード
- ⑤ 教科書データ CD-ROM

Q&A 別冊2 詳細は別冊2をご覧ください。

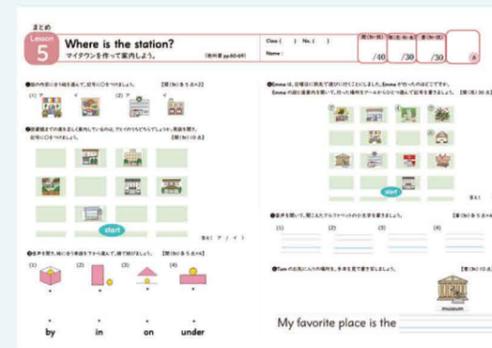
指導者用デジタル教科書を教師用指導書セットに同梱します。

A	活動ワークシート	Let's Listen, Let's Play, Let's Try, Activity など、授業でそのままお使いいただけます。
B	評価ワークシート NEW	教科書と同じイラストで各単元の確かめができます。
C	振り返りシート	児童の振り返りを記録することができます。毎時間の終末で使えるタイプと、教科書巻末の CAN-DO チェックと連動した、単元末で使えるタイプの2種類をご用意しました。
D	ループリック	評価資料をもとに、評定を自動計算することができるツールです。
E	チーム・ティーチング用指導案	チーム・ティーチングの際に活用いただける、英語の指導案です。
F	年間指導計画案	言語材料や評価の観点などの様々な視点から、1年間の学習を見通すことができます。児童の実態に合わせて書き換えも可能です。
G	巻末絵カードデータ	アルファベットとイラストが裏表で確認できる、絵カードです。お好みのサイズで出力することができます。
H	単語データ	教科書で使用される単語の意味、初出ページ、教科書の中での使用例などについてご確認いただけます。
I	教科書データ	教科書のテキストデータ、音声スクリプトなどをご確認いただけます。
J	フォントデータ	教科書用に新たに開発されたフォントを4線有り、無しの2パターンでご提供します。

A 活動ワークシート (Let's Listen)



B 評価ワークシート



C 振り返りシート



※制作中のため、内容や企画が変更になる場合があります。

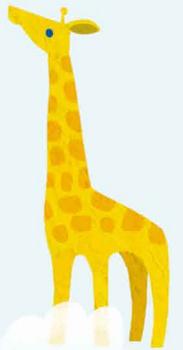


指導者用デジタル教科書(教材)のご案内



操作しやすいビューアと豊富な機能で、
充実した授業を行うことができます。

英語の指導に欠かせない音声コンテンツに加え
フラッシュカードや言語活動のモデル動画を用意しています。



詳しい内容は、別冊2の
『デジタルコンテンツ Q&A』で
ぜひご確認ください。



新教科書の特集サイトはこちら



開隆堂出版株式会社

<https://www.kairyudo.co.jp/>

令6教 内容解説資料 BC

東京本社

〒113-8608
東京都文京区向丘 1-13-1
TEL 03-5684-6111

東北支社

〒983-0852
宮城県仙台市宮城野区榴岡 4-3-10 仙台 TB ビル 4 階
TEL 022-742-1213

大阪支社

〒550-0013
大阪府大阪市西区新町 2-10-16
TEL 06-6531-5782

北海道支社

〒060-0042
北海道札幌市中央区大通西 11-4-21
52 山京ビル 7 階
TEL 011-231-0403

名古屋支社

〒461-0004
愛知県名古屋市東区葵 1-15-18
オフィスサンナゴヤ 9 階
TEL 052-908-5190

九州支社

〒810-0075
福岡県福岡市中央区港 2-1-5 FYC ビル 3 階
TEL 092-733-0174